回 答 書

2025年6月12日
日本貨物鉄道株式会社

2024年度は「JR貨物グループ中期経営計画2026」の初年度として、安全基盤の強化・安定輸送の追求による貨物鉄道輸送への信頼の回復、既存アセットを最大限活用した輸送量の回復、不動産事業の更なる拡大と新規事業の展開などの取組みを進めてきました。

当社の輸送動向は、8月の台風10号の影響や輪軸組立作業時の不適切事案の影響が大きかったものの、物流の2024年問題を踏まえた鉄道シフトの進展により輸送量は前年度を上回り、コンテナ・車扱の合計で前年比102.4%となりました。また、燃料費高騰や物価上昇により動力費を始めとしたコストが大幅に上昇しましたが、これらの経営努力では吸収できないコスト増分に対して4月から基本運賃改定を実施することで対応した結果、経常収支はJR貨物単体で△8億円となり、前年度からは大幅に改善しましたが、4期連続の赤字となりました。

一方、貨物鉄道輸送の役割を發揮し、物流の2024年問題やカーボンニュートラルの実現など社会課題の解決に貢献するためには、グループ社員の力を結集して「JR貨物グループ中期経営計画2026」に掲げる5つの基本方針に基づく様々な施策を着実に進めていく必要があります。

前述のとおり2024年度の経常収支は赤字となりましたが、日々の運行のみならず、災害等の異常時まで使命感を持って対応した社員の皆さんの奮闘が2024年度の経常収支の改善に貢献したこと、及び2025年度の事業計画達成に向け社員一丸となって奮起することを期待し、以下の通り回答します。

記

1. 基準額

基準額は、基準内賃金の1.73箇月分とする。

2. 支給日

2025年7月7日（月）とする。

3. その他

支給額には、ライフプラン支援金を含む。

以 上